

令和4年度

清瀬市行政評価

市民ワークショップ 報告書

令和4年6月

清瀬市

I 市民ワークショップの概要

1. 背景・実施目的

(1) 背景

本市では、平成 17 年度より市の行政活動を評価し、評価結果を次年度の予算編成などに反映させる行政評価制度に取り組んでいます。

平成 28 年度より、「第4次清瀬市長期総合計画(平成 28 年度～平成 37 年度)」(以下、「4次長総」)に基づく計画的なまちづくりを推進するため、4次長総で掲げる「施策」を単位とした「施策評価」を実施しています。

また、より透明性が高く、効率的かつ効果的な市政運営を推進するため、平成 24 年度より外部評価(第三者評価)を実施し、平成 28 年度より無作為抽出等による市民公募を行い、普段市政に関わりの薄い方々の関心を高めるとともに、サイレントマジョリティ(物言わぬ多数派)の意見を聴取することで、市民への説明責任や透明性について強化を図っています。

(2) 実施目的

4次長総に基づく取組の推進状況、課題や対応策等について、市民と担当部署で協議し、市民ワークショップで出た課題や意見を二次評価(行政評価委員会)の中で一次評価結果と併せて協議し、次年度以降の取組や予算編成の参考とすることを目的とします。

2. 開催概要

(1) 日時	令和4年 5 月 30 日(月)18 時 30 分～20 時 30 分 令和4年 6 月 1 日(水)18 時 30 分～20 時 30 分																																													
(2) 場所	清瀬市役所 4 階 研修室																																													
(3) 対象者	住民基本台帳から無作為抽出で選定された 18 歳以上の市民 1,000 人のうち参加希望者と、その家族や友人等(18 歳以上の市民 1 名迄)																																													
(4) 参加者	14 名((3)の希望者 12 名、その家族・友人等 2 名。そのうち、両日参加者 1 名、オンライン参加 1 名) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>男性</th><th>女性</th><th>合計</th><th>年代の割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>30 代未満</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>14%</td></tr><tr><td>30 代</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>29%</td></tr><tr><td>40 代</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>7%</td></tr><tr><td>50 代</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>21%</td></tr><tr><td>60 代</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0%</td></tr><tr><td>70 代以上</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td><td>29%</td></tr><tr><td>合計</td><td>7 人</td><td>7 人</td><td>14 人</td><td>100%</td></tr><tr><td>男女の割合</td><td>50%</td><td>50%</td><td>100%</td><td>—</td></tr></tbody></table>		男性	女性	合計	年代の割合	30 代未満	1	1	2	14%	30 代	2	2	4	29%	40 代	0	1	1	7%	50 代	1	2	3	21%	60 代	0	0	0	0%	70 代以上	3	1	4	29%	合計	7 人	7 人	14 人	100%	男女の割合	50%	50%	100%	—
	男性	女性	合計	年代の割合																																										
30 代未満	1	1	2	14%																																										
30 代	2	2	4	29%																																										
40 代	0	1	1	7%																																										
50 代	1	2	3	21%																																										
60 代	0	0	0	0%																																										
70 代以上	3	1	4	29%																																										
合計	7 人	7 人	14 人	100%																																										
男女の割合	50%	50%	100%	—																																										

(5)内容	参加者は指定されたグループに分かれ、4 施策についてワークショップ形式で考察や協議、評価を行いました。
(6)評価対象	<p>【5月30日(月)】</p> <p>Aグループ: 施策 132_男女平等社会の推進</p> <p>Bグループ: 施策 214_社会保険の安定的運営</p> <p>【6月1日(水)】</p> <p>Aグループ: 施策 332_誕生から就労に至るまでの総合的な相談体制の整備</p> <p>Bグループ: 施策 423_生活環境の保全</p>

3. 評価対象施策

評価対象施策は、特に多角的な視点での評価を要すると判断した以下の 4 つの施策について外部評価を実施しました。

✚ 第1分野「暮らし」の分野から選定

施策 132 男女平等社会の推進

施策の方向性

- さまざまな視点で男女平等を考え、一人一人の生き方を尊重する人とまちをめざします
- 女性がいきいきと暮らせるよう、DVや就労などの相談支援を充実します
- 女性のリーダーシップが一層発揮されるまちをめざします



第2分野「支え合い」の分野から選定

施策 214 社会保険の安定的運営

施策の方向性

- 医療費の適正化や財政基盤の強化に取り組めます
- 市報やホームページなどを活用し、社会保険制度の周知に努めます



第3分野「人づくり」の分野から抽出

施策 332 誕生から就労に至るまでの総合的な相談体制の整備

施策の方向性

- 誕生から就労に至るまでの相談を受けつける次世代型の相談センターを設置します
- 一貫した支援体制の構築をめざします



第4分野「基盤づくり」の分野から抽出

施策 423 生活環境の保全

施策の方向性

- 省エネルギー活動や再生可能エネルギーの普及を促進します
- 大気汚染・有害化学物質・騒音などの公害から生活環境を守ります
- 環境に対する問題意識を啓発するため、情報や学習の場を提供します



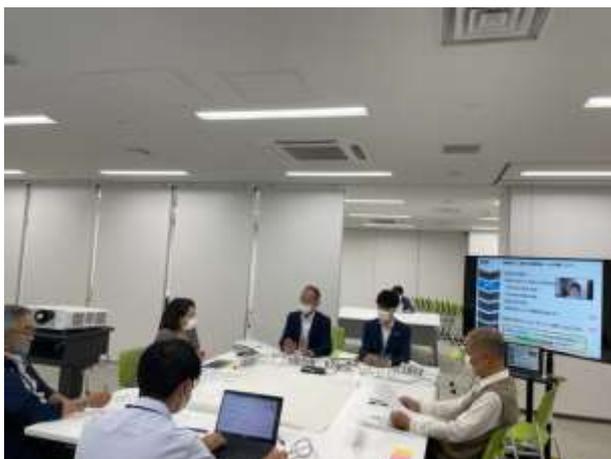
4. 実施方法

事務局から本市の財政状況等を、施策担当部署から施策に対する自己評価の結果を説明した後、ワークショップ形式により市民と担当部署で協議を行いました。

ワークショップのポイント

付せんによる意見の整理

参加者が考える施策を進める上での課題を各自付せんに書き出し、グループ内で共有しました。これにより、多くの意見が出やすく意見の整理や、テーマに集中した協議を行うことを目指しました。また同時に施策の進捗状況の評価も行いました。



協議の様子



協議の様子

5. 当日のスケジュール

5月30日(月)

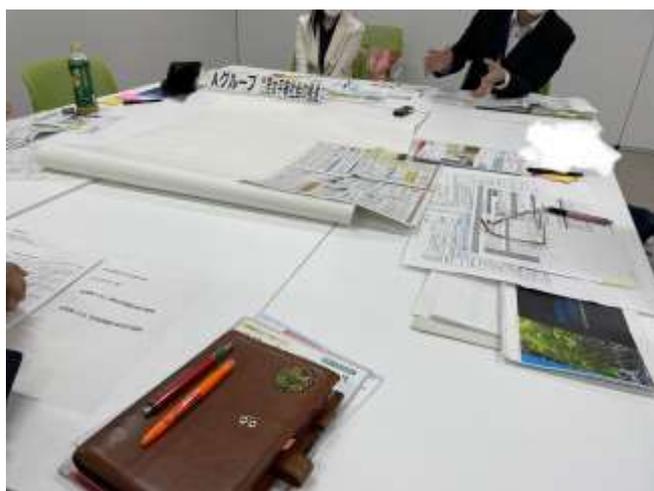
時間	プログラム
18:30	開会、挨拶(統括監企画部長)
18:35	清瀬市の人口と財政状況 (未来創造課イノベーション推進係長)
18:45	オリエンテーション(本日の進め方)
18:55	ワークショップ ・自己紹介 ・施策(施策 132、施策 214)について説明 ・施策を進める上での課題考察 ・考察内容を発表、共有 ・施策担当部署との協議、意見交換 ・施策の評価
20:25	事務連絡等
20:30	閉会

6月1日(水)

時間	プログラム
18:30	開会、挨拶(統括監企画部長)
18:35	清瀬市の人口と財政状況 (未来創造課イノベーション推進係長)
18:45	オリエンテーション(本日の進め方)
18:50	ワークショップ ・自己紹介 ・施策(施策 332、施策 423)について説明 ・施策を進める上での課題考察 ・考察内容を発表、共有 ・施策担当部署との協議、意見交換 ・施策の評価
20:25	事務連絡等
20:30	閉会

II 評価結果(ワークショップの内容)

以下のとおり、グループ毎に「施策を進める上での課題」を考察し、挙げられた課題について担当部署から現在の取組状況や今後の展望を説明し、課題に対して何をしていくべきかを協議しました。最後に施策の推進状況、担当部署との協議を踏まえ、参加者個人による施策評価を実施しました。



付せんと模造紙を用いての協議



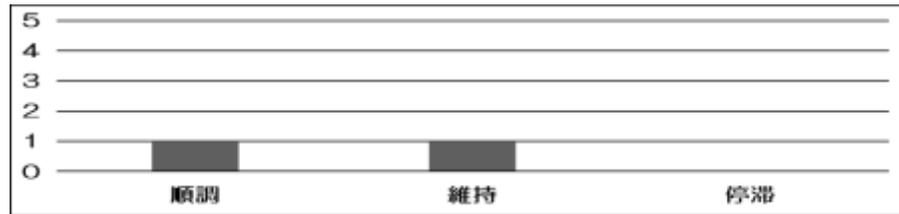
参加者に貼り付けていただいた後の模造紙

✚ 施策 132 男女平等社会の推進

- 参加者の発言
- ◇ 担当部署の発言

参加者が考える施策を進める上での課題・取り巻く環境	そのために何をしているか、何をしていくべきか
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民でアイレックを知っている人が少ない。 ● 今回の市民ワークショップを知って初めてアイレックを知った。 ● 市民に対するPRとアピールが足りない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 今回のような機会でも活動などを発信していきたい。 ● 子育ても落ち着いてきて、時間に余裕ができた。担当部署からお話しいただいた内容は私がやってみたくも思っていた内容でもあったので非常に興味がある。何が出来るか分からないが、活動してみたいと思った。 ◇ どんな形であれ知ってもらい、興味を持っていただけてありがたい。まずはお手伝いという形で参加してもらい、自分に合った活動を見つけていただけたらと思う。こういった形でも少しずつ広げていけたらと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ● Msスクエア編集にもうひと工夫あるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 女性の市民の方々が編集委員になり企画している。最近だとSDGsを取り入れた企画なども考えている。回数は年に2回だが女性広報誌を全戸配布しているのは、都内でも珍しいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ● 若い人の活動への参加の工夫をもっとすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 事務所のあるアミュービル5階に「ことりば」というコワーキングスペースを民間委託して行っている。今まで行ってきた女性の起業の応援事業で、利用者はお仕事をされている方がメインである。会員制にしており、男性よりも女性の登録者数が多くなっていて、土曜日は利用者の9割が女性の利用となっている。このように、今まで利用されていない世代には広がっており、今年度から利用者同士をつなげたり、相談できる方を配置しようとも考えている。

参加者による評価結果



順調: 進捗が順調に推移している

維持: 進捗に一部課題がある

停滞: 進捗が遅れている。

評価理由

【順調】

- 今まで知るきっかけが無かったが、意見交換することで、順調だと思った。

【維持】

- 民間委託し、新しい世代を取り入れてきているが、もう少し、市民の方にアピールできればと思う。

✚ 施策 214 社会保険の安定的運営

- 参加者の発言
- ◇ 担当部署の発言

参加者が考える施策を進める上での課題・取り巻く環境	そのために何をしているか、何をしていくべきか
● 医療費の適正化を進めていく必要がある。	● マイナンバーカードの普及をさせて、患者のデータを各医療機関で連携させていくようなことができると検査の重複等にならず、医療費の適正化を進めていけるのではないか。
● 子どもが思いっきり遊べる環境を作り、健康増進を図ることができないか。	● 公園の整備をする。また、公園では近隣住民からの苦情もあるということだからそれら住民の理解が得られるようにするべきではないか。
● 健康増進のためのPRが足りていない。	● 健康増進のためのPRについて、健康推進課と保険年金課が一体となって実施していく。 ◇ 健康推進課と保険年金課は、組織改正により生涯健幸部という同じ部となったため、協力できるところは、実施していく。
● 人口が増加し、市の収入が増加する。そうすることで、国民健康保険に関する予算の確保につながるのではないか。	● 子育て世代の集まる街づくりにシフトチェンジする。そうすることで企業誘致に繋がるのではないか。さらに、人口増及び税収増につながるものと考えられる。 ● 子どもが思いっきり遊べる公園の整備をすべき。 ◇ 現在、清瀬駅南口地域に児童館、図書館及び中央公園の整備を一体的に進めている。
● 施策担当部署で施策の評価をする際の根拠データが薄いのではないか。	● 根拠となるデータを基に施策の評価をしていく。
● 市民ワークショップのやり方を見直していく必要があるのではないか。	◇ 今後検討していく。わかりやすい資料作成を行い、参加者が評価等を実施しやすいワークショップを実施する。

参加者による評価結果

5	_____
4	_____
3	_____
2	_____
1	_____
0	_____
	順調 維持 停滞

順調: 進捗が順調に推移している
維持: 進捗に一部課題がある
停滞: 進捗が遅れている

評価理由

【評価不能】

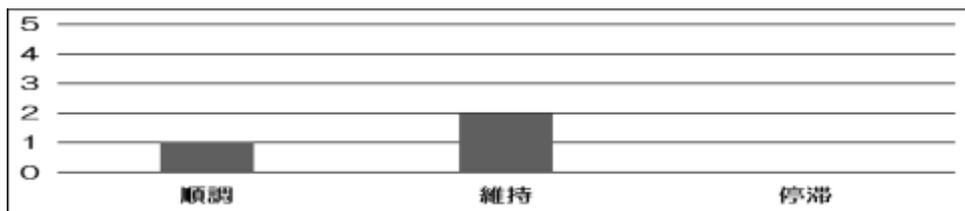
- 今回のワークショップのみで判断することは難しく、評価しない。

✚ 施策 332 誕生から就労に至るまでの総合的な相談体制の整備

- 参加者の発言
- ◇ 担当部署の発言

参加者が考える施策を進める上での課題・取り巻く環境	そのために何をしているか、何をしていくべきか
<ul style="list-style-type: none"> ● 気軽に相談できる場所のPRとすべき。 ● 相談するスタッフの方の質を保つために、枝葉ではなく「目的」の共有をすることで、相談しやすい環境になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 子育てガイドブックを作成しており、PR の手段として市報に載せたり、ウェブサイトや Facebook、メール配信などを使っているが、清瀬市世論調査を見ると必要としている方へ届いてない。 ◇ 相談内容によって対応場所が変わってしまうため、1つのリーフレットなどを周知する事が難しい。 ◇ どの職員が対応しても質の変わらない相談体制を提供できるようにしている。
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校以外の選択肢の提示をすべき。 ● 学校に行かなくても良いという選択肢が広まるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国も方向性を変えており、適応指導教室やフレンドルームで中学校3年生まで過ごすことを容認している。 ◇ 今までは不登校の生徒を学校に通える環境に戻すという動きであったが、最近は学べる環境で学ぶといった考えに変わってきている。
<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態時の共通のガイドラインがあるといい。 ● 市で作成してもらい、共有できていれば安心できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 全校で共有されたものはあり、市内の全校生徒も知っており、日ごろから緊急事態に備えている。 ● 最近近隣市で、子供に伝えたくない事件が起こった。そのような事が清瀬でも起こった場合の対応が出来ているのは親として安心である。
<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の市民ワークショップの進め方について事前に資料を配布いただき、進め方も教えていただけたら、考える時間もおり、しっかりとワークショップに参加できた。 ● 今回の内容が難しいと感じており、自分の中で噛み砕いて意見するのは難しいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 進め方は今後、検討していく。本日は人数も少ないため、忌憚のない意見をいただけたらと思う。

参加者による評価結果



順調: 進捗が順調に推移している

維持: 進捗に一部課題がある

停滞: 進捗が遅れている

評価理由

【順調】

- 一貫した支援体制の構築を目指すとおっしゃっていたので、順調とした。相談センターの考え方もよかった。現状の健康センターの改修後の運用も楽しみである。

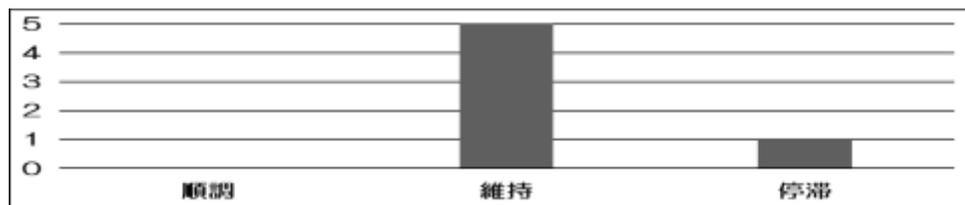
【維持】

- 目標値を上回ったのもあるが、計画の最後の年である令和7年度までには目標を達成していただきたい。
- 目標値を上回ったが、数値が高いのか低いのか、費用対効果は出ているのか、など分からないことがあり、順調か判断はできない。ただ、市に不満がないのは順調であると考えられる。

施策 423 生活環境の保全

参加者が考える施策を進める上での課題・取り巻く環境	そのために何をしているか、何をしていくべきか
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に関するPRが足りていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● SNSを利用して、PRを促進していくべき。 ◇ 市でもPR方法については苦慮していたところ。今後様々なPR方法を検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に関する良い行動を促進するような取り組みが足りていないのではないか。 ● 電力消費を抑制すべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エコポイントなどの取りくみを進めてみてもよいと思う。 ● 環境に関するPRを、SNS等を通じて実施する。 ● 太陽光発電導入を促進すべき。 ◇ 太陽光発電の設置補助を行っている。また蓄電池設置等の補助も開始した。
<ul style="list-style-type: none"> ● 個人個人が環境を良くするために行動をしやすい状況ではないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大気汚染、有害物質などへの対応も具体例を挙げて対応方法をSNS等で広めていく。市のHPだけではなく、もっと情報が広がりやすいものを利用していく。 ● エコポイントなど個人が環境を身近に感じられるような施策を実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に対する市としての施策も徹底されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受動喫煙の関係については、条例に基づく対応を市で徹底させていくべき。 ◇ 市でも受動喫煙については、見回り等をしているが、今後も徹底及び継続していく。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「日頃から地域環境に配慮している人の割合」というまちづくり指標があるが、「配慮している」と思っていないかでもできるようになるようにすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 居酒屋等と連携して、お客さんが待っている間にチラシを貼るなどでPRをすることができるのではないか。

参加者による評価結果



順調: 進捗が順調に推移している

維持: 進捗に一部課題がある

停滞: 進捗が遅れている

評価理由

【維持】

- まちづくり指標の数値が進んでいるという実績が出ている。
- 環境施策の周知の方法が、足りていない。市のホームページだけでなく、多様なSNSを駆使して周知を図るべき。
- 今回数人で集まっただけでも多くの意見が出たので、今後もこのような場を設けて、意見を吸い上げ活かしてほしい。

【停滞】

- 環境施策に関しての周知の方法として、SNSだけでなく、高齢の方向けにも伝わるような方法を考えてほしい。また、コロナの影響を乗り越えてでも目標数値を好調にさせていく取組みを考えてもらいたい。